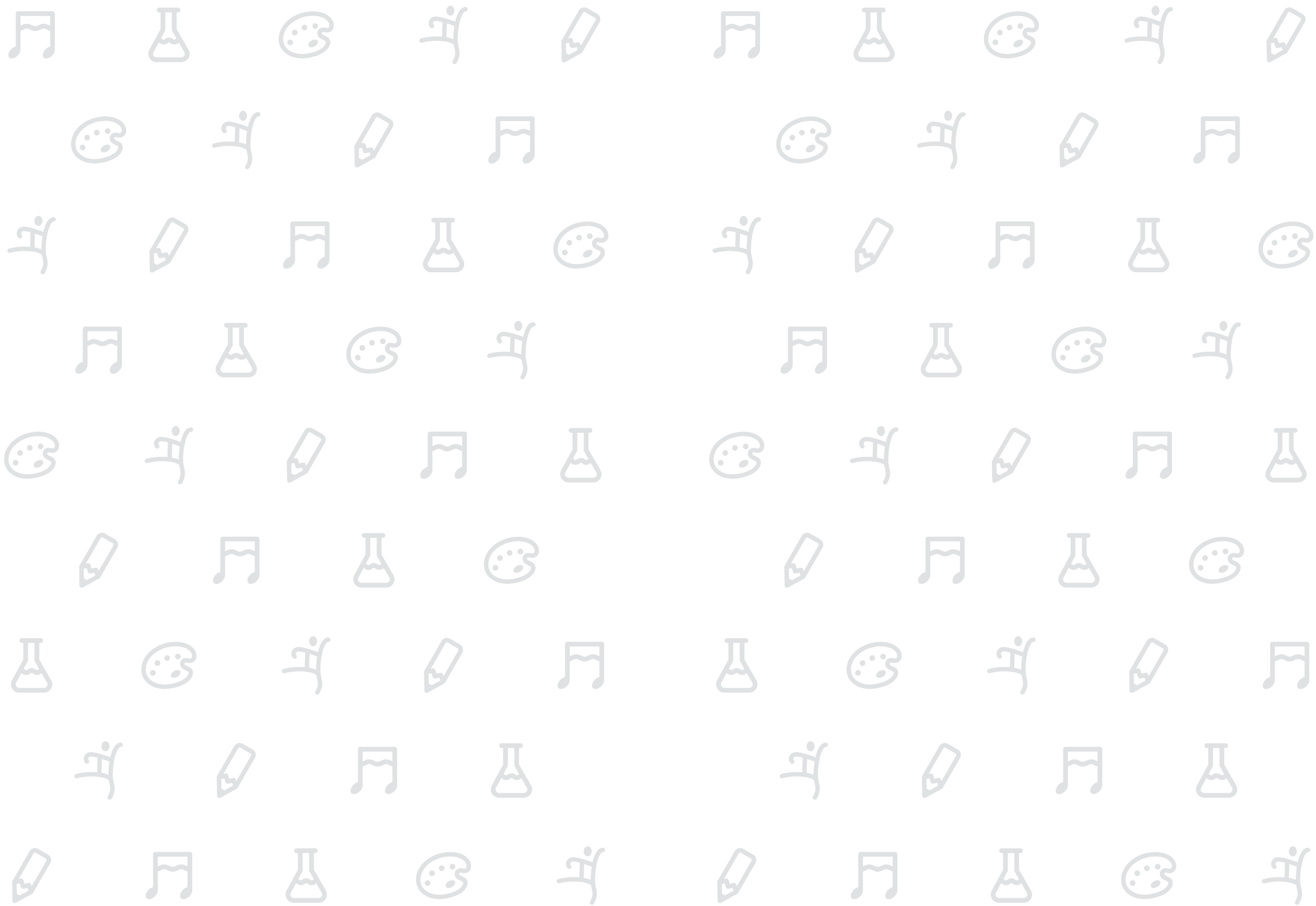




平成26年度－平成29年度  
記 録 集



## はじめに

「キニナルスキニナルプロジェクト」は、平成26(2014)年に公益財団法人静岡市文化振興財団の設立20周年を機に、「しずおか文化」を知って「キニナル」、楽しんで「スキニナル」、そして魅力ある「しずおか文化」を創り出すプロジェクトとして、スタートしました。

静岡市文化振興財団は平成6(1994)年7月に設立され、静岡市が設置するホールや、文化・教育施設の管理と各種事業を行ってまいりました。平成24(2012)年度には、演劇、舞踏、美術、音楽、科学、生涯学習等の文化振興に関する事業を行い、市民が各種文化に触れる環境と市民自身による文化創造活動を促進し、静岡文化の創造、継承、発信に寄与することを目的とした、公益財団法人として新たにスタートいたしました。

「キニナルスキニナルプロジェクト」は、これまで積み重ねてきた財団の強み一すなわち、専門職員を有する「専門性」、多様な分野の事業活動を行う「総合性」、静岡市の外郭団体として長期的に市民と共に文化を作り上げてきた「地域性」、これら3つの特性を活かした事業をつくることを目指しました。財団スタッフの総力を結集し、専門分野や施設を越えた事業を行うことで、人的交流による新たな価値観を創造するためのヒントを見出す活動でもありました。

4年間の活動では、事業連携や共同広報の展開により、多くの皆様に「キニナルスキニナルプロジェクト」に参加していただきました。参加した一人ひとりの皆様が、「しずおか文化」に親しみを持っていただけたことが、文化の力で未来の静岡市を創る礎になればと考えております。

この記録集を通して、財団の活動を知っていただく機会となれば幸いです。

最後に、本プロジェクトにお力添えいただいた関係各位に、この場を借りて深く御礼申し上げます。

### 凡例

・事業は年度別に掲載し、以下の5つのカテゴリで分類した。

「静岡の音楽がキニナル」「静岡の自然がキニナル<sup>\*1</sup>」「静岡の美術と歴史がキニナル<sup>\*2</sup>」

「静岡のダンスがキニナル<sup>\*3</sup>」「静岡人の生き方がキニナル」

・各年度の扉には、その年度のテーマを記し、続く見開きのページに代表的事業を紹介した。

・全事業については58ページの事業一覧にまとめた。

・主催者表記について、当財団では、主催者となる館の名称のあとに

「指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団」と記載しているが、

本誌では表記の繰り返しを避けるため、記載しない。

※1 平成27年度よりカテゴリ名を「静岡の科学がキニナル」に変更。ピクトグラムを新たに作成。

※2 平成27年度より「静岡の美術がキニナル」に変更。 ※3 平成28年度より「静岡の舞台がキニナル」に変更。

## もくじ

1. キニナルスキニナルプロジェクトの目的及び基本方針	7
2. 静岡市文化振興財団 管理施設紹介	8
3. 事業紹介	
<u>平成26年度 事業紹介</u>	10
子どものためのコンサート 音楽とおはなし《動物の謝肉祭》	12
しずおか自然体験ミュージアム	14
国宝・久能山東照宮展 家康と静岡ゆかりの名宝	16
STAND UP! ～シズオカ独立宣言・家康再起動～	18
タノシサレンサ会議	20
<u>平成27年度 事業紹介</u>	22
第20回「静岡の名手たち」オーディション 合格者によるコンサート	24
サイエンスピクニック2016	26
ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと	28
ダンス王国Shizuoka コミュニティダンス・フェスティバル 2016	30
むかしあそび学校プロジェクト	32
<u>平成28年度 事業紹介</u>	34
ミュージアム・コンサート 夢を歌う	36
ミュージアム・コンサート 月と音楽 ～ダジック・アースで月を観ながら～	38
しずびオープンアトリエ・しずびチビッコプログラム	40
ACTION!! ～シズオカ新撰組血風録～	42
子どもの歌 ～皆で楽しく歌おう～ / 先生が楽しむ音楽講座	44
<u>平成29年度 事業紹介</u>	46
AOIのオープン・デイ2017	48
科学コミュニケーター育成講座	50
めぐりアート静岡 まち ひと とき、むすぶ	52
ラウドヒル計画 BIRDMEN・NoWoman NoCry	54
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展・表彰式	56
4. キニナルスキニナルプロジェクト 事業一覧	58

## キニナルスキニナルプロジェクトの目的及び基本方針

### 目的

(1)しずおか文化を知る

静岡に生まれ、育てられた文化・芸術を紹介し、市民の「しずおか文化」に関する興味・関心を高め、理解を深める。

(2)しずおか文化を楽しむ

文化・芸術を体験する機会を提供することで、市民の「しずおか文化」への愛着を深め自発的な文化活動を促す。

(3)しずおか文化を創る

市民が文化・芸術について学び、自ら活動する機会を提供し、「しずおか文化」を創造する環境を整備する。

### 基本方針

(1)当財団が積み上げてきたノウハウと文化資源、特に文化を作り支えてきた人を事業の主役とする。

(2)多様な施設を管理する当財団が持つ専門性を活用し、施設間の連携を強化する。また、外部の関連文化施設や市民団体等との交流・連携を推進し、より質の高い事業を展開する。

(3)著名人の招聘に頼ることなく、市民の自発的な学習意欲を高める生涯学習的手法を用いた市民参画事業を展開する。

(4)一過性の事業で終わらせず、終了後も持続性を持った事業として地域で展開し、定着させる。

### 「しずおか文化」について

静岡市は、豊かな自然環境や歴史文化など多様な地域資源を豊富に抱くとともに、古くからこの地方の政治・経済・文化の中心であった。この地で暮らす人々は、東西文化の交流を通じて集まった新しい情報と伝統的な地域の環境や歴史を融合し、それらを新たな文化として昇華してきた歴史を持つ。私たちはそのような背景を持つ静岡の地で起こり、育まれる文化活動の全てを「しずおか文化」として定義した。

### ロゴマークについて

プロジェクトを通じて静岡のことを「気になって」「好きになって」もらいたいという思いがこめられている。

段々と盛り上がる静岡への想いを、富士山と駿河湾の波に見立てた。



静岡市文化振興財団

# 管理施設紹介

静岡市文化振興財団は、以下の指定管理施設及び受託施設の管理・運営を行っています。

## <指定管理施設>

### 静岡音楽館AOI

静岡音楽館AOIは、未来ある静岡の音楽文化を担う場所として、平成7(1995)年に開館しました。芸術監督・野平一郎のもと、静岡から発信する新しい音楽文化の創造、発展を目指し、多彩なコンサート、講座等を開催しています。お得なサービスが満載の静岡音楽館倶楽部(友の会)や事業運営を助けるボランティアクラブも実施しています。

▶ 静岡市葵区黒金町1-9 Tel.054-251-2200



### 静岡科学館る・く・る

「みる」「きく」「さわる」をキーワードに、発見する喜びと創造する楽しさにあふれる参加体験型の科学館です。自分のからだをつかって科学を体感できる約50種類の展示物や、土日や長期休暇にはサイエンスショーや科学工作など楽しい・学べるイベントも開催。子どもも大人も気軽に科学と触れ合うことができます。

▶ 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ8~10階 Tel.054-284-6960



### 静岡市美術館

JR静岡駅北口「葵タワー」3階にある美術館です。展示室では、年間を通じ多彩な企画展を実施します。エントランスホールやミュージアムショップ&カフェなどの“交流ゾーン”は無料で利用でき、様々なアートシーンの紹介やワークショップ、コンサート、上映会などを随時開催。誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”を目指しています。

▶ 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階 Tel.054-273-1515



### 静岡市民文化会館

静岡市民文化会館は、市民文化の向上を図るため、昭和53(1978)年11月3日に開館した施設で、1,978人収容の大ホール、1,184人収容の中ホール、360人収容の大会議室をはじめとする7つの会議室、リハーサル室、そして3つの展示室等を備えています。貸館としての運営のほかに、館の自主事業として、歌舞伎や市民参加型の舞台公演等を開催しています。

▶ 静岡市葵区駿府町2-90 Tel.054-251-3751



### 静岡市生涯学習センター

静岡市生涯学習センターは、市民の自発的な学習活動を支援し、学習活動を通じて地域の交流や連携を深め、市民主体のまちづくり活動を推進することを目的として市内11か所に設置されています。

各センターでは、幅広いジャンルの教養講座や地域資源を活用した体験事業を開催するほか、学習団体とその活動状況などの生涯学習に関する様々な情報を提供しています。多くの市民や情報が「集まる」「つながる」「発信する」施設として、生涯学習における「駅」のような機能を果たす「学びの駅」となり、地域の再認識と交流を生むまちづくりへとつながるような事業展開を図っています。



#### 葵生涯学習センター

▶ 静岡市葵区東草深町3-18 Tel.054-246-6191

#### 西部生涯学習センター

▶ 静岡市葵区田町3-46-5 Tel.054-255-3960

#### 東部生涯学習センター

▶ 静岡市葵区千代田7-8-15 Tel.054-263-0338

#### 北部生涯学習センター

▶ 静岡市葵区昭府2-14-1 Tel.054-271-5111

#### 藁科生涯学習センター

▶ 静岡市葵区羽鳥本町5-9 Tel.054-278-4141

#### 西奈生涯学習センター

▶ 静岡市葵区瀬名2-32-43 Tel.054-265-2468

#### 南部生涯学習センター

▶ 静岡市駿河区南八幡町25-21 Tel.054-281-2184

#### 長田生涯学習センター

▶ 静岡市駿河区寺田131-1 Tel.054-257-0780

#### 大里生涯学習センター

▶ 静岡市駿河区中野新田57-5 Tel.054-283-1698

#### 健康文化交流館「来・て・こ」

▶ 静岡市駿河区小鹿2-25-45 Tel.054-202-4300

#### 北部生涯学習センター美和分館

▶ 静岡市葵区安倍口団地5-1 Tel.054-296-7122

## <管理・業務受託施設>

#### 旧マッケンジー住宅

▶ 静岡市駿河区高松2852 Tel.054-237-0573

#### 中勘助文学記念館

▶ 静岡市葵区新聞1089-120 Tel.054-277-2970

#### 静岡市民ギャラリー

▶ 静岡市葵区追手町5-1 Tel.054-221-1017

#### 静岡市清水文化会館マリナート

▶ 静岡市清水区島崎町214 Tel.054-353-8885

# 平成26年度 (2014)

静岡市文化振興財団設立20周年を機に、財団管理施設全てが協力しあい、静岡市民のパートナーとして共にしずおか文化の発展を目指すべく、「しずおか文化を知る」、「しずおか文化を楽しむ」、「しずおか文化を創る」を事業の目的と定め、20周年記念事業を実施した。事業名は、静岡の歴史や文化をもっと身近に感じて、もっと好きになってほしい、そして個性ある「しずおか文化」を創り出す人になってほしいという思いから、「キニナルスキニナルプロジェクト」とした。文化を科学、美術、音楽、舞踏、生涯学習の5つの視点から紹介し、「キニナルスキニナル」体験を提供した。

## キニナルスキニナルプロジェクト 平成26年度

### 🎵 静岡の音楽がキニナル

- ・「子どものためのコンサート 音楽とおはなし《動物の謝肉祭》」ほか8事業

### 🌿 静岡の自然がキニナル

- ・企画展「しずおか自然体験ミュージアム」ほか5事業

### 🎨 静岡の美術と歴史がキニナル

- ・「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの名宝」ほか10事業

### 💃 静岡のダンスがキニナル

- ・「STAND UP! ~シズオカ独立宣言・家康再起動~」ほか10事業

### 📖 静岡人の生き方がキニナル

- ・「タノシサレンサ会議」ほか1事業



平成26(2014)年度制作チラシ



難波研:ヴァイオリン協奏曲《Air》



F.シュミット:三重奏のソナティナ op.85



P.I.チャイコフスキー:弦楽のためのセレナード 八長調 op.48 より 第1楽章 撮影:日置真光

日程 平成26(2014)年11月8日(土)

会場 静岡音楽館AOI ホール(8階)

参加者数 469人



## 概要

静岡音楽館AOIが平成7(1995)年の開館からずっと継続し、いまでは静岡の音楽家たちにとって登竜門的な存在となっている「静岡の名手たち」オーディションのこれまでの合格者で平成24(2012)年に結成された「静岡の名手たち」アンサンブルによるコンサート。静岡市出身の女優、原田夏希を朗読に迎えた《動物の謝肉祭》をメインに、モーツァルトの《ディヴェルティメント》、チャイコフスキーの《弦楽のためのセレナード》など、馴染みある曲でプログラムを構成。併せて「静岡の名手たち」合格者の作曲家、難波研によるこのコンサートのための新作を初演。「静岡の名手たち」の育成を目的としながらも、親子で楽しめるコンサートとした。

## 連携のかたち

このコンサートに関連して、静岡市美術館にて静岡音楽館AOIの学芸員による《動物の謝肉祭》についての講演会、しずびちっこプログラム、静岡科学館る・く・るにて動物のパネル展と、動物学者と静岡音楽館AOIの学芸員によるトークショーを実施した。関連事業の参加者からは「子どもと一緒にコンサートに行きたい」などの感想があった。

## 出演

十束尚宏(指揮)  
嶋田慶子(ヴァイオリン)  
原田夏希(朗読)  
「静岡の名手たち」アンサンブル

## 曲目

- ・ W.A.モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136(126a)
- ・ F.シュミット:三重奏のソナティナ op.85
- ・ 難波研:ヴァイオリン協奏曲《Air》(静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演)
- ・ P.I.チャイコフスキー:弦楽のためのセレナード 八長調 op.48 より 第1楽章
- ・ C.サン＝サーンス:動物の謝肉祭

主催:静岡音楽館AOI



**日程** 平成27(2015)年1月10日(土)～  
2月22日(日)[38日間]

**会場** 静岡科学館る・く・る  
企画展示室、イベントホール、  
る・く・るギャラリー

**参加者数** 58,637人



## 概要

静岡県は、富士山から駿河湾まで日本一の高低差を誇る地形と山々や、河川・温泉・湧水をはじめとする豊富な水、温暖な気候など彩りある環境を保有している。多種多様な生き物が息づき、人々に多様な海・山の恵み、森林水産物をもたらしている本県の自然を、当科学館のコンセプトである「体験」を通して紹介した。加えて、静岡の誇るすごい所・モノや多様な静岡マップ、さわれる・体験できる展示、ワークショップを展開し、多彩な静岡の恵みを余すことなく発信した。期間中繰り返し来場するリピーターも多数見られ、子どもたちには「静岡を知る」「自然に触れる」きっかけを、大人には「静岡の魅力を再発見する」機会を提供した。

## 連携のかたち

この企画展に関連し、静岡市美術館と連携して地元の竹を用いた漆塗りの竹スプーンを作成する事業を行った。自然観察や竹の採取、スプーンの削り出しと漆塗り作業まで、全3回に渡る講座とし、地元の自然を活かし、漆器を身近な文化として提供した。また、大里・北部・美和・藁科の4地区生涯学習センターとの連携事業では、静岡の自然を地域学に絡め、安倍川流域のマップを作成。さらにマップを用いたウォークイベントを開催したほか、作成したマップを各センターおよび科学館内で配布したところ、大変好評を得た。単館事業では成しえなかった新しい事業展開ができたといえる。

## 講師

延原尊美(静岡大学 教育学部教授) 静岡県立静岡農業高等学校 石川泰弘(株式会社バスクリン 温泉入浴指導員)  
大榎基正(静岡市水産物商業協同組合) 石垣幸二(沼津港深海水族館 館長)ほか

主催: 静岡科学館る・く・る

後援: 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、NHK静岡放送局、朝日新聞静岡総局、産経新聞静岡支局、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、日本経済新聞静岡支局、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局、株式会社テレビ静岡、静岡朝日テレビ、たいいちテレビ、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会





**日程** 平成26(2014)年10月4日(土)ー  
11月24日(月・祝)[45日間]

**会場** 静岡市美術館

**観覧者数** 20,353人



## 概要

江戸幕府を開いた徳川家康が、晩年「久能城は駿府城の本丸と思う」と、その重要性を説き、自らを久能山に葬るよう遺言してから400年になろうとしている。家康没後、二代将軍秀忠によって整備されたその建造物は、最古の東照宮建築として平成22(2010)年に国宝に指定された。

この機に当たり、本展では重要文化財「洋時計」をはじめとした家康の駿府大御所時代の遺愛品はもちろん、家康から慶喜まで徳川家歴代将軍所用の甲冑が、肖像画と共に初めて勢揃いした。また家康を尊敬した三代将軍家光が“神君”家康のために、久能山に奉納した「御神宝装束」を公開するなど、久能山東照宮ならではの名宝が一堂に会した。さらに久能山東照宮前史として、久能寺(現・鉄舟寺)に伝来した日本三大装飾経の一つ、国宝「久能寺経」などにより、霊山である久能山の往時の繁栄をしのんだ。

## 連携のかたち

静岡音楽館AOIと連携したミュージアムコンサートを開催した。また、各生涯学習センターで開講している高齢者向け教養講座「みより大学」の合同講座として徳川宗家18代当主徳川恒孝氏の講演会を開催したほか、久能山東照宮のウォークツアー、古写真を使ったワークショップなど多様な方面から生涯学習センターと連携し、地域ゆかりの文化について学び、楽しむ機会を提供した。

主催：静岡市、静岡市美術館、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社  
 共催：徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会  
 後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会  
 特別協力：久能山東照宮、(公財)徳川記念財団、静岡新聞社



撮影:Takuya Haraga

日程 平成27(2015)年3月28日(土)～29日(日)[2日間]

会場 静岡市民文化会館

観覧者数 延べ1,174人(28日:582人、29日:592人)

出演者数 57人



## 概要

静岡市民文化会館が制作する市民参加型オリジナル大型舞台公演の第2弾。平成27(2015)年に没後400年の節目を迎える徳川家康を主役とし、実は家康は久能山でスリープしており、シズオカ県政の危機に「再起動」して、シズオカの独立に向けて次第に周囲を感化していくという奇想天外なファンタジーとした。笑いあり、涙あり、ダンスと殺陣を散りばめたスピード感ある展開で大好評を得た。(また本作は、同年9月、家康公顕彰四百年祭イベントの一環として再演も果たした)

一般公募の出演者57人が舞台に立った。この作品で初めて応募してきた顔ぶれだけでなく、平成25(2013)年に制作した初回作「GO!!ALL」から引き続き参加したキャストも多く、完成度の高い舞台を目指す稽古を通して、チームに、前作にも増して世代や経歴を超えた一体感が醸成された。「継続的に文化活動に取り組む市民を育成し、活躍の場を開拓する」という文化施設としての役割を体現する成果とも言え、本作は、このあと平成28(2016)年度以降、館の事業計画の中核として掲げることになる「中間支援」の要素、とりわけ、継続的な舞台作品づくりによって新たな市民文化活動の場を創出しようとする「ラウドヒル計画」の礎を固める役割を果たした。

主催：静岡市民文化会館





**日程** 平成26(2014)年9月20日(土)、9月27日(土)、  
10月11日(土)、10月25日(土)、  
11月 8日(土)[全5回]

**会場** 葵生涯学習センター

**参加者数** 55人



タノシサレンサ会議  
TANOSHISA REnsa KAIGI

## 概要

静岡で様々な「自分らしい」活動をしている人を毎回ゲストに招き、その考え方や生き方をさぐるトーク&ディスカッション形式の連続講座。対象は20~30代とした。

多分野で活躍するゲストによる、活動の動機や今後の目標についてのトークは刺激的で、社会で活動するための「気づき」を得ることができた。最終回は、その「気づき」をヒントに、「静岡でどのようなことができるのか」を考えるためのディスカッションを行い、静岡に必要なこと、静岡でやりたいこと等多方面から意見を出された。ほとんどの受講者から今後継続的に活動していきたいと声が寄せられ、若年層の社会参画への意識を高める機会となったことが窺える。

当事業は平成26(2014)年度に初回を実施し、平成29(2017)年度まで毎年事業を実施している。平成27(2015)年には事業のロゴを作成し、広報活動に活用した。生涯学習センターの利用の少ない20~30代をターゲットとした事業として毎年多彩なゲストを招き、生涯学習センターの可能性を探っている。

## 連携のかたち

静岡市文化振興財団設立20周年記念事業の一環として実施。静岡市内にある11の生涯学習センターが連携し、通常の事業よりも規模の大きな事業を企画・運営できたことは職員にとっても良い刺激になった。

## 講師

- |                                     |                    |
|-------------------------------------|--------------------|
| 第1回目:アオキ裕幸(ダンサー・振付家)・竹之内裕文氏(静岡大学教授) | 第4回目:竹之内裕文(静岡大学教授) |
| 第2回目:今井奈保子(フェアトレードショップTeebom店主)     | 中村大輔(元春日保育園調理師)    |
| 坂本紗司斗スレンダー(スリランカカレーSahiru17店主)      | 第5回目:竹之内裕文(静岡大学教授) |
| 第3回目:青山弘己(静岡まつり実行委員長)               |                    |
| 岩崎泰久(株式会社マルヒデ岩崎製茶代表取締役)             |                    |
| 青木義浩(静岡駅南銀座商店街)                     |                    |

主催:葵生涯学習センター

# 平成27年度 (2015)

平成27年度からは「キニナルスキニナルプロジェクト」を「新たな文化活動事業」と位置づけ、平成29年度まで継続して実施することとした。文化を身近に感じられる都市として「静岡暮らし」の魅力を向上させることを目標とした。「次世代」をテーマに、財団の強みである専門性と総合性を活かし、組織内外の連携や分野を超えた新しい事業形態をとった。

## キニナルスキニナルプロジェクト 平成27年度

### 🎵 静岡の音楽がキニナル

・「第20回「静岡の名手たち」オーディション 合格者によるコンサート」ほか11事業

### 🔬 静岡の科学がキニナル

・「サイエンスピクニック2016」ほか6事業

### 🎨 静岡の美術がキニナル

・「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」ほか11事業

### 💃 静岡のダンスがキニナル

・「ダンス王国Shizuoka コミュニティダンス・フェスティバル 2016」ほか5事業

### 🏠 静岡人の生き方がキニナル

・「むかしあそび学校プロジェクト」ほか26事業



平成27(2015)年度制作チラシ



声楽部門:川口真貴子(ソプラノ)



声楽部門:市川浩平(テノール)



アンサンブル部門:里見有香(ピアノ)、大倉礼加(ヴァイオリン)



撮影:日置真光



**日程** 平成27(2015)年9月12日(土)  
**会場** 静岡音楽館AOI ホール(8階)  
**参加者数** 168人

## 概要

静岡音楽館AOI開館20周年を迎え、開館からずっと継続している「静岡の名手たち」オーディションも第20回を数え、のべ164件(244人)が合格した。6月13日(土)、14日(日)に開催した第20回オーディションでは、8件(13人)が合格、静岡県立美術館ロダン館で演奏できるロダン賞は声楽部門の川口真貴子とアンサンブル部門の里見有香、大倉礼加のデュオに、静岡交響楽団と共演できるコンチェルト賞は声楽部門の市川浩平にそれぞれ贈られた。演奏はいずれもすばらしく、このコンサートはいつも来場者からも「さまざまな演奏を聴くことができて楽しかった」「静岡の若い音楽家を応援したい」などの感想があった。合格者は静岡音楽館AOIがプロデュースするコンサートにたびたび出演する機会を得ている。

## 出演・曲目

- ・清水栄利花、我妻里実(クラリネット)、沖教仁(ピアノ) F.メンデルスゾーン:演奏会用小品第1番 へ短調 op.113(J.ミヒャエルス 編)
- ・山下未紗(メゾソプラノ)、柳川瑞季(ピアノ) P.マスカーニ:歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より《ママも知るとおり》ほか
- ・Piafl [塩澤佐江(ピアノ)、伊藤梨恵子、鈴木絢子(フルート)] 矢代秋雄:2本のフルートとピアノのためのソナタ
- ・市川浩平(テノール)、菅原綾(ピアノ) G.ドニゼッティ:歌劇《ドン・パスクワレ》より《哀れなエルネスト》ほか
- ・柿本有衣(ソプラノ)、居崎圭(ピアノ) A.カタラーニ:歌劇《ラ・ワリー》より《さようなら、ふるさとの家よ》ほか
- ・長坂萌(マリンバ) L.H.スティーヴンス:リズムック・カプリス
- ・川口真貴子(メゾソプラノ)、石橋あやの(ピアノ) A.シェーンベルク:4つの歌曲 op.2
- ・里見有香(ピアノ)、大倉礼加(ヴァイオリン) L.v.ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第4番 イ短調 op.23

## 第20回「静岡の名手たち」オーディション 合格者

- |  |   |
|--|---|
| <p>[打楽器部門]<br/>長坂萌(マリンバ)</p> <p>[声楽部門]<br/>柿本有衣(ソプラノ)<br/>川口真貴子(メゾソプラノ)【ロダン賞受賞】<br/>山下未紗(メゾソプラノ)<br/>市川浩平(テノール)【コンチェルト賞受賞】</p> | <p>[アンサンブル部門]<br/>Piafl(塩澤佐江、伊藤梨恵子、鈴木絢子)(フルート2、ピアノ)<br/>清水栄利花、我妻里実、沖教仁(クラリネット2、ピアノ)<br/>里見有香、大倉礼加(ヴァイオリン、ピアノ)【ロダン賞受賞】<br/>※各部門演奏順</p> |
|--|---|

主催:静岡音楽館AOI



**日程** 平成28(2016)年2月27日(土)～28日(日)[2日間]

**会場** 静岡科学館る・く・る  
ガレージ、企画展示室、イベントホール、  
ワークショップスペース、体験ステージ、創作ルーム

**参加者数** 6,867人



## 概要

地域で活動する自然・科学系の市民グループ全39団体が出展した春の文化祭。工作や体験を中心としたブース出展や実演の他、県外の科学館職員を招いてのワークショップ等を実施した。当事業は、出展者が活動の成果報告を行うこと、また出展者同士の情報交換を行うことで、取り組みを一層深め、活動を活性化することを目的としている。

2015年度で6回目の開催であるため、事業当日は情報交換も積極的に行われ、市民団体同士や公共施設等が、協働事業を計画する場面もあった。顔の見えるネットワーク構築がなされてきているといえる。

また、昨年度に引き続き「生物多様性こどもシンポジウム」(静岡市環境創造課と共催)を併せて開催。幅広い客層への訴求ができたほか、今回初めて市内小学生に向けて広報チラシを配布した。これらの効果か、来場者数は過去最多となった。出展者だけでなく、来館者の科学への興味関心を促進する効果も得られ、充実した事業内容となった。

## 講師

山中敦子(蒲郡市生命の海科学館)  
長田茂(箱根ソオミュージアム)・山口珠美(同)・佐須秀人(同)  
志村正敏(日本科学未来館)ほか

主催: 静岡科学館る・く・る  
共催: 静岡市環境創造課  
後援: 静岡市教育委員会、日本サイエンスコミュニケーション協会





**日程** 平成27(2015)年10月10日(土)ー  
11月23日(月・祝)[39日間]

**会場** 静岡市美術館

**観覧者数** 41,836人



## 概要

絵本美術館の先駆けとして昭和52(1977)年に開館したいわさきちひろ絵本美術館(現ちひろ美術館・東京、その後平成9(1997)年に安曇野ちひろ美術館が開館)は、子どもたちの表情を鮮やかに描きだしたいわさきちひろ(1918-1974)の作品をはじめ、2万6千点を超える世界各国の絵本画家たちの作品を収集・展示している。本展ではその中から、いわさきちひろ、赤羽末吉、長新太、茂田井武を中心に、荒井良二やスズキコージなど日本人作家16人、海外からはエリック・カールやモーリス・センダック、プライアン・ワイルドスミス、マーク・シモントなど32人、計48人の絵本画家の作品約200点を紹介した。

あらゆる感覚にひらかれた絵本をとおして、時代や国境、文化を超えて存在するイメージや、子どもの頃のみずみずしい記憶を再発見できる構成にした。そして、印刷物としての絵本とはまた違った、原画の持つ魅力を紹介した。

本展では当館初の試みとして、保護者に向けた親子ガイドを作成。鑑賞の手助けとなるポイントをまとめ、親子で対話しながら鑑賞できる仕組みとした。



## 連携のかたち

静岡音楽館AOIは「第17期 子どものための音楽ひろば」を、生涯学習センターは展示解説付きの全2回の講座を企画。どれも質の高い事業となったほか、展示会の周知にもつながった。

主催：静岡市、静岡市美術館、ちひろ美術館、テレビ静岡、中日新聞東海本社  
後援：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、静岡リビング新聞社、K-mix、中日ショッパー  
協力：静岡図書館友の会、静岡市立図書館、静岡県立中央図書館  
特別協賛：静岡トヨタ



撮影: Takuya Haraga

日程	平成28(2016)年2月13日(土) - 14日(日) [2日間]
会場	静岡市民文化会館
観覧者数	409人
出演者数	46人 (フジノソラノツツレオリ)



## 概要

ダンスの楽しさを広める機会づくりとして、全国で活動する市民ダンサー・団体の有志を静岡へ招致し、150人超の市民ダンサーが合計13作品を上演する当会館過去最大規模のダンスイベントを開催した。地元の市民ダンサーらとの協調も重視して準備を進める体制をとり、彼らの「他団体の作品を観たい」「交流したい」等の要望にも配慮しながら準備を進めた。参画メンバーから「私たちはホストである」という言葉も随所で聞かれ、本企画が地元ダンサーらの共通の「場」として人のつながりを強める効果を実感できた。一方で、各団体とも自身の発表準備等に時間を取られ、せっかく全国から集った団体同士、作品を十分に鑑賞し合う余裕がなかった、との声もあり、公演としての作品構成と、参加(発表)者同士の交流を促進するバランスの難しさを痛感した。

また、地元静岡発の大規模作品として、市民参加のオリジナルダンス「フジノソラノツツレオリ」を発表・上演した。子どもから70歳代まで46人が共演。指導に当たった振付家の北村成美氏は、「Dance is Passion, Dance is Life」を掲げ、参加者それぞれの個性、人生をちりばめた「つつれ織り(タペストリー)」を目指して情熱あふれる指導を続けた。群舞を背景に、各々の誕生日から発想した独自の振り付けが代わる代わる登場し、全員がひとときの主役を演じて1時間の大作を演じ切った。参加者の満足度も高く、県外から視察に訪れたバレエ関係者からも「まさに“市井のコンテンポラリーダンス”だ」との高い評価を受ける作品になった。

主催: 静岡市民文化会館





## 交流会

日程 平成28(2016)年1月16日(土)

会場 藁科生涯学習センター

参加者数 25人

事業一覧(※交流会は以下の事業の成果発表の場として設定した。)

- 玉川の懐かしいお菓子と籠づくり 10/31~2/13(全3回)(北部生涯学習センター) 参加者数:延べ24人
- むかしあそびにチャレンジ! 12/5~1/16(全3回)(藁科生涯学習センター) 参加者数:延べ18人
- 昔遊び体験 コマまわしに挑戦! 12/19~1/16(全4回)(西奈生涯学習センター) 参加者数:延べ26人
- むかしあそび体験 お手玉に挑戦! 12/26~1/16(全2回)(長田生涯学習センター) 参加者数:延べ5人



## 概要

小学生に昔ながらの遊びを体験する場を提供し、地域住民から昔の遊びを学ぶことで、地域の世代間の交流の促進を図ることを目的として、市内生涯学習センター4館が連携し、籠づくり、あやとり、折紙、コマ、お手玉等の昔あそびを体験できる講座を企画した。さらに、4館の生涯学習センターの受講者が一堂に会し、それぞれが習得した昔あそびを発表する交流会を開催した。交流会では、生涯学習センター毎にブースを設け、子ども同士相互に遊びを学び合う時間を設けた。さらに、ゲストとして主に静岡市内で活動している「おしゃべりパンダ」を招き、大型紙芝居コンサートを全員で鑑賞した。

4館の生涯学習センターで実施した遊びを持ち寄ることによって多くの遊びを紹介することができ、講座を充実させることができた。また、子ども達が遊びを通して様々な地域の大人と触れ合う機会となり、異世代交流を促進することができた。

## 連携のかたち

講座実施館は、4館(北部、藁科、西奈、長田生涯学習センター)であるが、本事業は生涯学習センターのグループ研修の一環として実施したものである。藁生涯学習センターが調整役となり、グループ研修のメンバーも関わって、企画・運営をした。

## 講師

- 海野幸代、大石みさお、海野美智代(玉川学区婦人会)(北部生涯学習センター)
- 人形劇団「ポケット」(藁科生涯学習センター)
- 村松謙一、杉山國男(駿府まつり塾会員)(西奈生涯学習センター)
- 藤原由美子、大石律子、鈴木文子(長田西地区社会福祉協議会ボランティア所属)(長田生涯学習センター)

主催: 藁生涯学習センター、北部生涯学習センター、藁科生涯学習センター、西奈生涯学習センター、長田生涯学習センター

# 平成28年度 (2016)

平成28年度は、平成27年度のテーマ「次世代」を継承しつつ、文化を担う人材の育成にスポットを当てた事業を実施した。人材育成を核とした事業を一連のサイクルと捉え、既存事業の拡充や、新規連携の立ち上げなど、財団の専門性、総合性を活かした事業を展開した。

## キニナルスキニナルプロジェクト 平成28年度

### 🎵 静岡の音楽がキニナル

・「ミュージアム・コンサート 夢を歌う」ほか7事業

### 🔬 静岡の科学がキニナル

・「ミュージアムコンサート 月と音楽 ～ダジック・アースで月を観ながら～」ほか6事業

### 🎨 静岡の美術がキニナル

・「しずびオープンアトリエ・しずびチビッコプログラム」ほか13事業

### 🎭 静岡の舞台がキニナル

・「ACTION!! ～シズオカ新撰組血風録～」ほか4事業

### 📖 静岡人の生き方がキニナル

・「子どもの歌 ～皆で楽しく歌おう～／先生が楽しむ音楽講座」ほか36事業



平成28(2016)年度制作チラシ



撮影:石川綾子

- 日程 平成29(2017)年2月26日(日)
- 会場 静岡市美術館 多目的室
- 参加者数 97人



## 概要

静岡市美術館「夢二と京都の日本画」展に関連した静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業として実施したこのコンサートは、竹久夢二が表紙絵を描いたセノオ楽譜を中心に、前半に日本の歌曲を、後半にピアノ・ソロの名曲をまじえてヨーロッパの歌を選曲。とくに、夢二の詞で知られる〈宵待草〉、あまり知られていないが興味深い作品群を残した藤井清水の4曲、出演者の特性を活かしたコロラトゥーラ・ソプラノの音楽がこのプログラムの特徴である。ソプラノは第4回「静岡の名手たち」オーディション合格者の山田祐規子。後半はクラシック音楽の名曲によって、イギリス、イタリア、ドイツ、ロシア、フランスといったさまざまな国の作品を採りあげることで、セノオ楽譜が大正期の日本におけるクラシック音楽の普及に果たした役割も紹介した。セノオ楽譜の表紙絵をスクリーンに投影しながら演奏し、夢二が音楽をどう感じて描いたかを観て、夢二についての理解を深めた。大正期をイメージして歌手が和装で歌ったのも好評だった。

## 出演

山田祐規子(ソプラノ)、大石啓(ピアノ)

## 曲目

- ・ 澤田柳吉: 麓の道
- ・ 山田耕筰: からたちの花 ペイチカ
- ・ 藤井清水: 黄昏の歌 ちゝのみの 消えてあとなき 影ふめば
- ・ 榊原直: 草の夢
- ・ 土屋平三郎: 春の雪
- ・ 多忠亮: 宵待草
- ・ F.ショパン: ワルツ第7番 嬰ハ短調 op.64-2
- ・ H.ピショップ: 見よ、優しき雲雀を(歌劇《間違いの喜劇》より)
- ・ G.B.ペルゴレージ(伝): ニーナの死
- ・ W.A.モーツァルト: すみれ K.476  
夜の女王のアリア(復讐の心は地獄のようにわが胸に燃え)  
(歌劇《魔笛》K.620より)
- ・ A.ドヴォルザーク: ユモレスク 変ト長調 op.101-7
- ・ P.I.チャイコフスキー: ただ惚れを知るものだけが op.6-6
- ・ J.マスネ: 汝が碧き眼を開け(《愛の詩》第3曲)
- ・ R.シューマン: トロイメライ(《子どもの情景》より)op.15-7
- ・ G.ヴェルディ: ヴィオレッタのアリア  
〈ああ、そはかの人か ~ 花から花へ〉  
(歌劇《椿姫》より)

主催: 静岡市美術館、静岡音楽館AOI



**日程** 平成28(2016)年9月11日(日)

**会場** 静岡科学館る・く・る イベントホール

**参加者数** 112人



## 概要

静岡音楽館AOIとの共同事業。中秋の名月に合わせ、音楽館の企画協力を得た「月」にまつわるコンサートを開催。科学館の保有する4次元デジタル地球儀「ダジック・アース」を用いて大型球体スクリーンに月を映写。科学と音楽の融合を図った。

## 連携のかたち

ダジック・アースという新しい技術を用いて自転する月の映像を球体のスクリーンに投影しながら、月まつわる音楽をピアノ演奏で聴くコンサート。トークでダジック・アースについての説明も加えた。演奏者に「静岡の名手たち」合格者を起用した支援・育成事業として実施。プログラムは、C.ドビュッシーの《月の光》とL.v.ベートーヴェンの《月光》ソナタという、クラシック音楽で月にまつわる作品としては耳なじみのあるものを中心にしただけでなく、組曲の全曲、ソナタの全楽章を演奏、夜をイメージしてR.シューマンのロマンスを採り入れ、クラシック・コンサートとしても充実したものとした。ピアノのすぐ上に直径2mの月が浮かんでいるさまは印象的であり、新しい技術とクラシック音楽とのコラボレーションを、説明的手法ではなく、演出として美しく表現したことで、鑑賞者の満足度を高めることができた。

## 出演

入川舜(ピアノ/第5回「静岡の名手たち」合格者)

## 曲目

- ・C.ドビュッシー:そして月は廃寺に落ちる(《映像》第2集より)  
ベルガマスク組曲 第1曲 前奏曲 第2曲 メヌエット 第3曲 月の光 第4曲 バスビエ
- ・R.シューマン 3つのロマンス op.28
- ・L.v.ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第14番《月光》嬰八短調 op.27-2  
第1楽章 Adagio sostenuto 第2楽章 Allegretto 第3楽章 Presto agitato

主催:静岡科学館る・く・る  
企画協力:静岡音楽館AOI



しずびチビッコプログラム



しずびチビッコプログラム



しずびオープンアトリエ



しずびオープンアトリエ



しずびチビッコプログラム

## しずびオープンアトリエ

日程

エッシャーの世界「メビウスの輪で不思議な模様とかたちをつくろう！」

① 平成28(2016)年8月6日(土)－8月21日(日)[14日間]

夢と京都の日本画「はんこでつくる！夢デザイン」

② 平成29(2017)年2月18日(土)－3月26日(日)の毎週土・日曜[12日間]

会場

静岡市美術館

参加者数

① 28回・計291人 ② 24回・計313人

## しずびチビッコプログラム

日程

没後20年 ルーシー・リー展

平成28(2016)年5月14日(土)

伊豆市所蔵近代日本画コレクション展 大観・靱彦・龍子らと修善寺

平成28(2016)年6月11日(土)

エッシャーの世界

平成28(2016)年8月27日(土)

ランス美術館展

平成28(2016)年10月15日(土)

スタジオジブリ・レイアウト展

平成29(2017)年1月21日(土)、22日(日)

夢と京都の日本画

平成29(2017)年3月20日(月・祝)

会場

静岡市美術館

参加者数

14回・計157人

## 概要

静岡市美術館では、教育普及事業として、4つのワークショップシリーズを実施している。そのうち「しずびオープンアトリエ」は、春・夏の2回、開催中の展覧会に合わせて実施する、鑑賞と創作が一体となったワークショップである。期間中連続して開催し、所要時間1時間程度、事前申込不要で小学生以上なら誰でも気軽に参加できる。創作活動をとおして、展覧会や作品の魅力を伝えるとともに、美術館を身近に感じるきっかけを創出することを目的としている。

「しずびチビッコプログラム」は、2歳以上の未就学児を対象にした、鑑賞に基づく制作プログラムである。参加者は、美術館スタッフの進行と保育スタッフのサポートのもと、展覧会に即した素材や技法に触れる(制作の間、保護者は展覧会を鑑賞)。展覧会ごとに様々なアプローチで未就学児の表現の可能性を探っている。

いずれの事業も、プログラムは美術館の教育普及担当がオリジナルで考案している。美術館開館当初から実施を重ね、リピーターも多い。幅広い世代に親しまれる、美術館を代表する事業のひとつである。

主催：静岡市美術館





撮影: Takuya Haraga

日程 平成29(2017)年3月11日(土)～12日(日)[2日間]

会場 静岡市民文化会館

観覧者数 延べ1,242人(11日575人、12日667人)

出演者数 74人



## 概要

静岡市民文化会館が制作する市民参加型オリジナル大型舞台公演の第3弾。会館主催の市民参加型舞台公演として最多、74人の出演による作品制作になった。シズオカに持ち上がる「新撰組」の映画制作の取り組みをモチーフに、無理難題を押し付けるスポンサーと、夢を掲げて抗う映画監督はじめ市民出演者ら、それを支援する女性知事、大物女優など、多彩なキャラクターが織り成す熱血ストーリーとした。稽古は7月のオーディションから半年間に及んだ。2時間を超える大作になったが、芝居・殺陣・ダンス・劇中映像を組み合わせ、スピード感ある“ドラマダンスエンターテインメント”として、観覧者アンケートに「市民参画の舞台とは思えない精度の高さだ」との評価を得るなど大好評を博した。アンケートによる観覧者満足度は94%(回答333人)にも上った。稽古中から、舞台経験の豊富なベテランが経験の浅い演者らをフォローする場面が数多く見られ、それら演者個々の心配り、モチベーション等が、全体として完成度の高い舞台をつくり上げた。出演者からは「また舞台に立ちたい」「他の演劇ワークショップ等にも参加してみたい」等の声が多数寄せられた。アンケートに回答した60人のうち、「やりがいがあった」「参加してよかった」とする回答はともに98%を超え、出演した市民らにとってもかけがえのない活動体験になったことがわかる。

会館ではこの年から、継続的な舞台作品づくりを中核とした事業群「ラウドヒル計画」を設定し、出演者らの満足感を一過性で終わらせることなく「次につなげる」こと、また彼ら、彼女らのつくる舞台によって多くの市民と感動を共有し、舞台の楽しさ、さらに文化活動に参画する楽しさを広く紹介して行くことを明確に目指し始めた。当公演は、その旗艦事業としての成果を十分に残した。

主催: 静岡市民文化会館



撮影:石川綾子

## 合同発表会

日程 平成28(2016)年10月1日(土)

会場 葵生涯学習センター

参加者数 32人



事業一覧(※合同発表会は以下の事業の成果発表の場として設定した。)

- 子どもの歌～皆で楽しく歌おう～ 7/23～10/1(全5回)(西部生涯学習センター) 参加者数:延べ63人
- 子どもの歌～皆で楽しく歌おう～ 7/30～10/1(全5回)(長田生涯学習センター) 参加者数:延べ40人
- 先生が楽しむ音楽講座 6/18～10/1(全5回)(西部生涯学習センター) 参加者数:延べ77人

## 概要

「子どもの歌～皆で楽しく歌おう～」は、体操と歌を通して子どもの協調性を養うと共に、仲間作りを行うことを目的とした。(2館の生涯学習センターで同じプログラムを実施)ブレインジムという集中力を養う体操を行った後、発声練習や歌を歌った。専門家による本格的な指導を受ける機会を得、音楽への関心を育む一助となった。また、課題曲は教科書に載っていないものが多かったため、講座中だけでなく自宅でも自主練習をする参加者もあり、自主性を育むことができた。

「先生が楽しむ音楽講座」は教師または音楽を教えることに関心がある人を対象として、職業能力向上を目指すことを目的とし、学校現場での子どもへの歌や音楽の教え方を学んだ。受講者の多くが音楽教育への関心が高く、受講者同士、お互いの情報を共有したり交流を深める事ができた。

3つの講座の集大成として最終日に合同発表会を実施。当日は、静岡児童合唱団の参加も得て実施した。参加者に自分と同じ年頃の団員の歌を聞かせ、刺激を与えることができた。発表会の会場は、練習会場と異なる場所で開催することで、やる気を大きくさせ、練習に真剣に取り組む姿勢へ繋がったと感じている。

## 連携のかたち

西部生涯学習センターと長田生涯学習センターが連携し、事業内容や日程の調整を行い、3つの講座の発表会を合同で実施した。

## 講師

- 戸崎裕子(静岡児童合唱団主宰)
- 戸崎文葉(静岡児童合唱団指揮者)

主催:西部生涯学習センター、長田生涯学習センター

# 平成29年度 (2017)

平成29年度も、平成28年度から継続した事業展開を行った。市民に文化を身近に知ってもらおう場、市民が文化活動に参加・参画できる場、市民の文化活動を支援・発表する場など、市民のニーズに合わせた多様な機会を提供した。

## キニナルスキニナルプロジェクト 平成29年度

### 🎵 静岡の音楽がキニナル

・「AOIのオープン・デイ2017」ほか6事業

### 🧪 静岡の科学がキニナル

・「科学コミュニケーター育成講座」ほか4事業

### 🎨 静岡の美術がキニナル

・「めぐるりアート静岡 まちひととき、むすぶ」ほか13事業

### 🎭 静岡の舞台がキニナル

・ラウドヒル計画「BIRDMEN」・「NoWoman NoCry」ほか1事業

### 📖 静岡人の生き方がキニナル

・「子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展・表彰式」ほか50事業



平成29 (2017) 年度制作チラシ





モーツァルト 名曲の夕べ 撮影:日置真光



ロビー・コンサート



はじめてのAOI



音と音楽のミニ・サイエンスショー



ワクワク! いろんな楽器にふれてみよう!

- 日程 平成29(2017)年8月5日(土)
- 会場 静岡音楽館AOI ホール(8階)ほか
- 参加者数 3,475人



## 概要

「AOIのオープン・デイ」は、静岡音楽館AOIをより身近に感じられるよう開館20周年を機に始めた事業。芸術監督・野平一郎の指揮による「静岡の名手たち」アンサンブルのコンサート「モーツァルト 名曲の夕べ」をはじめ、すべてのイベントが無料で参加できる。第1回の平成27(2015)年には997人が来場し、第2回の平成28(2016)年は広報の内容をより充実させ、早くから展開したことなどで2,179人の来場者を得ることができた。第3回となる平成29(2017)年は、実施方法を変更したり、新たな催事を実施したことにより3,475人の来場者を得ることができ、前年度比1.5倍、第1回からは3.5倍となった。パイプオルガンのコンサートは前年度までは30分1回だったのを、奏者を2人にし、30分のプログラムをそれぞれ2回ずつ実施することで、より多くのお客様に聴いてもらえるようにした。新たにロビー・コンサート、サイエンス・ショー、リハーサル見学を実施し、静岡市が主催する「まちかどコンサート」とも連動をはかった。

## 出演

野平一郎(指揮)  
 諸田大輔(フルート)  
 「静岡の名手たち」アンサンブル  
 長井浩美、中川紫音(オルガン)  
 常葉大学短期大学部音楽科

## 内容

コンサート モーツァルト 名曲の夕べ  
 パイプオルガン、やってるよ!  
 AOIの舞台裏をのぞいてみよう! はじめてのAOI  
 ワクワク! いろんな楽器にふれてみよう!  
 ロビー・コンサート  
 リハーサルをのぞいちゃお  
 音と音楽のミニ・サイエンスショー  
 まちかどコンサート ほか

主催:静岡音楽館AOI



**日程** 平成29(2017)年5月21日(日)～  
平成30(2018)年2月18日(日)[全15回]

**会場** 静岡科学館る・く・る 創作ルーム

**受講者数** 14人



## 概要

科学コミュニケーションとは何か、その価値と役割、必要な能力などについて、座学とワークショップ、課題企画等を通して実践力を磨く講座。受講後には、静岡科学館や生涯学習センターなどで実地訓練の場を提供し、将来的に自立して活動できるよう支援することを目的としている。講座は平成29(2017)年で6期目となり、受講生はミュージアム関係者、研究者、小学校教諭、ボランティア、NPO、大学生など様々な職種・年齢となっている。グループワークを行うなかで、幅広い世代間での交流が生まれている。各回の講座講師は、科学館職員をはじめ、大学教員、JAXA職員、特許事務所関係者など多岐にわたる。

受講生は、講座課題として8月の「夏のサイエンス屋台村」や12月～2月のサイエンスカフェの企画を立案、実施。サイエンス屋台村では、一般来場者に向けて、講座卒業生と合わせて全部で10種類のブースで、体験、工作ワークショップを行った。また、サイエンスカフェでは研究者と複数回打ち合わせを行い、トークや体験を織り交ぜた企画を創りあげたほか、当日の司会進行やファシリテーションを行った。年度を重ねるごとに、人材育成と、育成した人材による市民への科学普及、還元活動を両立することができている。

## 連携のかたち

実践の場として全4回開催したサイエンスカフェのうち1回を、葵生涯学習センターで開催した。募集窓口を同センターとすることで、普段は科学館に来館しない市民やサイエンスカフェ初心者にも参加を促し、より実践的な土壌を用意した。

## 講師

八木絵香(大阪大学 准教授)      木村精治(都市環境デザイン研究所)  
吉岡亜紀子(赤岡特許事務所)      小川義和(国立科学博物館)  
渡辺政隆(筑波大学 教授)ほか

主催:静岡科学館る・く・る



遠藤美香 展示風景 (静岡市美術館 多目的室)



奈木和彦《提婆達多》(左)《「星」と「お星様」》(右) (中勤助文学記念館)



岩野勝人《MENTAL CHAIR IV》(左)「コンテナ・アートベース」と《キリン・キリン》(右) (東静岡アート&スポーツ/ヒロバ)

- 日程** 平成29(2017)年10月17日(火)ー  
11月5日(日)[20日間]  
東静岡アート&スポーツ/ヒロバのみ 10月14日(土)ー11月12日(日)
- 会場** 静岡市美術館(多目的室)ほか
- 観覧者数** 14,961人(静岡市美術館会場)  
28,441人(全体)
- 作家** 遠藤美香(版画家、1984年浜松市生まれ/在住)



### 概要

静岡市美術館では、多目的室で、浜松市在住の版画家・遠藤美香の版画作品8点を展示した。遠藤は等身大を超えるベニヤ板を彫り、墨一色で刷り上げる大きな木版画作品で、各種受賞を重ねて来た。画面には庭の片隅や昔ながらの畳の間など、恐らくは作者に身近な場所が描かれ、作者自身とおぼしい女性の姿が多く登場するが、顔は描かれず姿はどこか所在なげである。自身の生活を見つめる静かな眼差しを、大画面を彫りあげた彫りの強さが支えている。声高に語られないが故に届くものがあり、静かに見入る観覧者の姿が多く見られた。

### 連携のかたち

「めぐるりアート静岡」は、静岡大学を中心に静岡県立美術館、静岡市美術館、オルタナティブスペースなどが連携し、市内数か所を会場に平成26(2014)年度から始まった。静岡ゆかりの若手作家を中心に今を生きるアートを紹介し本展で5回目となる。昨年度から、静岡市、静岡市文化振興財団が主催に入り、JR東静岡駅北口の「アート&スポーツ/ヒロバ」や市内文化施設が会場に加わった。今年度は市内5会場、7人の作家作品が紹介された。静岡市美術館では自館会場のほか、ヒロバ会場の彫刻家・岩野勝人「コンテナ・アートベース」プロジェクトを昨年度に続き担当、また、財団事務局も「中勤助文学記念館」会場に協力した。会期中にはアーティストトークやワークショップ、コンサートなどのほか、会場をめぐるスタンプラリーも実施され、多くの参加者が市内をめぐる。

- 東静岡アート&スポーツ/ヒロバ: 岩野勝人/千葉広一/小笠原圭吾
- 静岡県立美術館: 池島康輔
- 静岡市美術館: 遠藤美香
- 中勤助文学記念館: 奈木和彦
- 村上開明堂七間町第2ビル: 渡辺真也

主催: 静岡大学、静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市、(公財)静岡市文化振興財団



BIRDMEN



NoWoman NoCry



撮影:Takuya Haraga

## 概要

市民参加で継続的な舞台作品づくりに取り組む「ラウドヒル計画」は、平成29(2017)年度、2つのスピノフ作品に取り組んだ。実力ある演者を選抜し、より完成度の高い作品を目指す「BIRDMEN」と、初心者を含めたワークショップで発表公演を目指す「NoWoman NoCry」。市民のチカラで舞台をつくり、その楽しさを広く他の市民にも伝えていく。文化活動への興味・意欲の連鎖を図る実験が続いた。

## BIRDMEN

日程	平成29(2017)年12月1日(土)ー2日(日)[2日間]
会場	静岡市民文化会館
観覧者数	延べ590人(1日258人、2日332人)

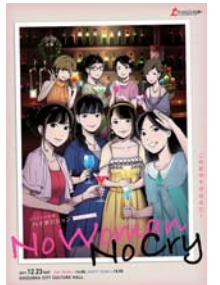


## 概要

選抜した若手男性8人が出演。第二次大戦末期、旧藤枝基地(現・静浜基地)に置かれた航空隊「芙蓉部隊」をモチーフに、同部隊が特攻命令を拒否して戦い続けた戦史から、戦時中と現代の物語を重ね、夢を追う若者らの信念や葛藤、様々な障害に「抗う」姿勢などを描いた。実在した部隊を取り上げたためか、客席には高い年齢層の観覧者も目立った。アンケート回答は来場の6割に及ぶ372人、満足度は95.7%に達し、地域の戦史を踏まえ、現代の感覚で夢や明日への希望をうたう作品意図が、観覧者の心の琴線に触れた手応えが感じられた。「もっと多くの人に見てもらわなければならない作品だ」との評価も多く、広報のあり方や、今後のコンテンツ活用(再演)等が課題として挙がっている。

## NoWoman NoCry

日程	平成29(2017)年12月23日(土)
会場	静岡市民文化会館
観覧者数	延べ372人(昼組186人、夜組186人)
参加者数	26人



## 概要

公演母体のワークショップは18歳~30歳代の女性を対象とし、当館舞台への出演経験者を中心に26人が参加。物語も同世代の女性キャラクターだけで構成し、結婚式の三次会に集う同窓生が、仕事や将来の夢、社会での葛藤・抑圧、男性一般への不満などを憚りなくぶちまけていく会話劇とした。前売券は完売し満席に。テンポ良く、ユーモアあふれる掛け合いに「出演者のパワーが凄かった」「私も頑張ろうと思った」など好評が寄せられ、観覧の感動から会館制作の次公演へ応募を決める市民も現れた。演者同士にも強い一体感が生まれ、同好の士が励まし合う場をつくる意味でも成果を残した。昼組公演には静岡市長を観覧に招待した。

主催：静岡市民文化会館



最優秀賞「春爛漫」



優秀賞「はいっちゃった」



優秀賞「風に舞う」

## 巡回展

**日程** 平成29(2017)年9月30日(土)～  
平成30(2018)年3月31日(土)[全183日間]

**会場** 市内生涯学習センター11館、  
静岡科学館る・く・る

## 表彰式

**日程** 平成29(2017)年9月30日(土)

**会場** 葵生涯学習センター



## 概要

レンズを通してさまざまな場面で出会った笑顔表現した作品を募集することで、豊かな心を育み、静岡の町を構成する人の素晴らしさを再確認するきっかけとすることを目的とし、「見ているとつられて笑顔になってしまう」子どもの笑顔写真を募集した。応募作品数93点の中から23点(最優秀賞1作品、優秀賞2作品、入賞20作品)が入賞した。表彰式当日は、入賞者23組の家族を対象に写真を長期保存するスクラップブックの手法を学ぶワークショップを開催した。表彰式終了後、市内12箇所で開催した。

## 連携のかたち

生涯学習センターだけでなく、静岡市文化振興財団が管理・運営している施設と連携して多角的に事業を展開し事業効果を高めるため静岡科学館を巡回展会場の1つとすることとした。

## 審査員

- 大野仁志(大野写真研究室)
- 岸端宏美(静岡市立安東こども園 副園長)
- 村田敦(静岡市横内小学校長)
- 川村美智(女性会館長)
- 鈴木浩之(葵生涯学習センター長)

主催：葵生涯学習センター、西部生涯学習センター、東部生涯学習センター、北部生涯学習センター、藁科生涯学習センター、西奈生涯学習センター、南部生涯学習センター、長田生涯学習センター、大里生涯学習センター、駿河生涯学習センター、北部生涯学習センター美和分館、静岡科学館る・く・る

# キニナルスキニナルプロジェクト 事業一覧(全254事業)

## 平成26(2014)年度

分野	イベント名	開催日	参加人数
<b>静岡の音楽がキニナル</b>			
	オルガン¥500コンサート 中川繁音	4/6	429人
	第19回「静岡の名手たち」オーディション	5/4,5/5(2日間) 参加者114人、来場者222人	
	オルガン¥500コンサート 甲斐弦也	9/6	490人
	第19回「静岡の名手たち」合格者によるコンサート	9/13	422人
月	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 講演会“この1曲”をとことん語る C.サン＝サーンス《動物の謝肉祭》&しずびチビッコプログラム	10/12(全2回)	「とことん語る」34人、 「チビッコプログラム」37人
月	「静岡の名手たち」によるコンサート(葵生涯学習センター)	10/26	146人
月	「静岡の名手たち」によるコンサート(北部生涯学習センター美和分館)	11/5	114人
	子どものためのコンサート 音楽とおはなし《動物の謝肉祭》	11/8	469人
月	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」 ミュージアム・コンサート	11/16	49人

<b>静岡の自然がキニナル</b>			
	る・く・る自然観察会	4/13～2/7(全10回)	201人
月	企画展「しずおか自然体験ミュージアム」関連事業「安倍川流域まち歩きマップ作り」	5/8～3/24(各館全4回)	116人
月	静岡市文化振興財団設立20周年記念事業 静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業「《動物の謝肉祭》に出てくる動物たち」パネル展	10/4～11/9(37日間)	-
月	企画展「しずおか自然体験ミュージアム」関連事業「自然観察と竹スプーンづくり～静岡の竹と漆を考える～」	10/25,1/18,2/1(全3回)	40人
	科学茶房	10/26,1/11,2/22(全3回)	170人
	企画展「しずおか自然体験ミュージアム」	1/10～2/22(38日間)	58,637人

<b>静岡の美術と歴史がキニナル</b>			
月	徳川家康公誕辰400周年記念事業 フォトモで復元！むかしの静岡(南部生涯学習センター)	10/2,10/9(全2回)	13人
	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」	10/4～11/24(45日間)	20,353人
	「国宝 久能山東照宮へ行こう!!」共通券・バス事業	10/4～11/24(45日間) チケット:1,236枚販売	
	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」 ワークショップ「フォトモで作ろう静岡の街」[「むかし」]	10/5,10/13(全2回)	22人
月	徳川家康公誕辰400周年記念事業「ウォークツアー「久能山探検！」」(西部生涯学習センター)	10/9	30人
	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」 講演会①「久能山東照宮御鎮座四百年」	10/11	103人
月	みのり大学合同講演会「徳川家の人々と静岡」	10/15	708人
	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」 講演会②「異形の兎と立物—家康の時代の甲冑—」	10/19	83人
	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」 講演会③「久能山東照宮御神宝装束とゆかりの染織品」	10/26	69人
月	徳川家康公誕辰400周年記念事業「ウォークツアー「久能山探検！」」(西部生涯学習センター)	10/30,10/31(全2回)	56人
	徳川家康公誕辰400周年記念事業「国宝・久能山東照宮展—家康と静岡ゆかりの国宝」 講演会④「徳川家康の日本刀観」	11/8	90人

<b>静岡のダンスがキニナル</b>			
月	2014ダンス&アートセレブレーション(東部生涯学習センター)	6/21～8/29(全17回)	50人
月	2014ダンス&アートセレブレーション(薬科生涯学習センター)	7/5～8/23(全11回)	20人
月	2014ダンス&アートセレブレーション(西奈生涯学習センター)	7/5～8/23(全11回)	77人
	講演会「エスパルスとサッカーと静岡」	8/16	210人
月	2014ダンス&アートセレブレーション ダンス王国Shizuoka第1回通常国会「心が踊るダンスの国会」	8/30,8/31(2日間)	273人
月	エスパルスダンスを踊ろう(西部生涯学習センター)	9/6	10人
月	エスパルスダンスを踊ろう(大里生涯学習センター)	9/7	10人
月	エスパルスダンスを踊ろう(駿河生涯学習センター)	9/13	10人
	エスパルスオフィシャルダンスミュージカル GO!!! ALL returns	9/27,9/28(2日間)	876人
月	おやじカフェ	11/29,11/30(2日間)	554人
	徳川家康公誕辰400周年記念事業 ドラマダンスエンターテイメント「STAND UP! ～シズオカ独立宣言! 家康再起動～」	3/28,3/29(2日間)	1,174人

<b>静岡人の生き方がキニナル</b>			
	スペシャルトーク「好き」は社会を変えていく。	8/24	45人
	タノシサレンサ会議	9/20～11/8(全5回)	55人

## 平成27(2015)年度

分野	イベント名	開催日	参加人数
<b>静岡の音楽がキニナル</b>			
月	第17期「子どものための音楽ひろば」	5/6～3/5(全24回)	49人
月	旧マッケンジー住宅演奏会 春のピアノ・コンサート	5/24	36人
	第20回「静岡の名手たち」オーディション	6/13,6/14(2日間) 参加者128人、来場者202人	
月	静岡音楽館AOI探検ツアー	7/30	18人
	AOIのオープン・デイ2015	8/8	997人
月	はじめてのAOI探検ツアー	8/20	23人
	第20回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート	9/12	168人

月	「静岡の名手たち」によるコンサート(葵生涯学習センター)	10/11	70人
月	旧マッケンジー住宅演奏会 秋の室内楽	10/25	34人
月	「静岡の名手たち」によるコンサート(駿河生涯学習センター)	11/7	109人
月	“この1曲”をとことん語る 映画「スター・ウォーズ」の音楽(南部生涯学習センター)	1/21	23人
月	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 “この1曲”をとことん語る J.ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」の音楽(静岡市美術館)	2/13	100人



<b>静岡の科学がキニナル</b>			
	幼児向けワークショップ「めばえのかがく」	4/11～3/12(全19回)	1,257人
	科学茶房	4/19～3/21(全13回)	694人
	科学コミュニケーター育成講座	5/24～2/14(全15回)	165人
月	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業 科学茶房「青磁のひみつ-魅力ある“青”が生まれるまで」	6/21	34人(科学茶房参加者数に含む)
月	静岡・音楽館×科学館×美術館共同事業「青磁釉作りに挑戦!丹波青磁の小皿を作ろう」	8/5	32人
	光の箱をつくってみよう	10/3	17人
	サイエンスピクニック2016	2/27,2/28(2日間)	6,867人

<b>静岡の美術がキニナル</b>			
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」	10/10～11/23(39日間)	41,836人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」 講演会①「絵本の絵の読み方—世界の絵本画家とちひろの絵」	10/10	110人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」 スズキコージのライブペインティング	10/11,10/12(2日間)	8,211人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」 絵本を楽しむおはなし会	10/17～11/21(全6回)	926人
月	読み聞かせと絵本の世界(西奈生涯学習センター)	10/21	16人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」 当館学芸員によるスライドトーク	10/25,11/15(全2回)	94人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」 テレビ静岡アナウンサーの絵本読み語り会	10/31	106人
月	「絵本」とあそび(薬科生涯学習センター)	11/11	27人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」 講演会②「長新太とボク」	11/22	103人
	「芹沢銈介の家」お二階拝見ツアー	12/12	20人
	芹沢銈介の作品をめぐる 見学ツアー	12/23	21人
	「ちひろ美術館 世界の絵本原画コレクション展 絵本をひらくと」展覧会鑑賞ガイド		発行数:10,000部

<b>静岡のダンスがキニナル</b>			
月	漢のダンス・ワークショップ～夏の陣～	8/1	5人
	<ダンス王国Shizuoka> コミュニティダンス・ワークショップ	8/1～3/20(全3回)	46人
月	漢のダンス・ワークショップ～秋の陣～	11/14	6人
	<ダンス王国Shizuoka> コミュニティダンス・フェスティバル2016	2/13,2/14(2日間)	409人
	<ダンス王国Shizuoka> コミュニティダンス・アカデミー「無言で伝える バレエの言葉、マイムのひみつ」	2/27	25人
月	漢のダンス・ワークショップ～春の陣～	3/19	8人

<b>静岡人の生き方がキニナル</b>			
	アカデ美和子どもカレッジ	4/26～10/4(全13回)	135人
	子ども広場	5/9～1/16(全8回)	244人
	先生が楽しむ音楽講座	5/23～9/5(全5回)	51人
	美和農業体験～静岡いちご編～	6/6～1/9(全4回)	36人
	子どもの歌～皆で楽しく歌おう～(西部生涯学習センター)	7/25～9/12(全5回)	100人
	めざせ!けん玉マスター!	8/2,8/9(全2回)	78人
	大学生講座企画塾	8/22～1/17(全5回)	48人
	タノシサレンサ会議	9/26～11/21(全5回)	39人
	子どもの笑顔写真コンテスト表彰式	10/4	応募数:47点
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(葵生涯学習センター)	10/4～10/11(8日間)	-
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(長田生涯学習センター)	10/13～10/18(6日間)	-
	玉川の懐かしいお菓子と籠づくり	10/31～2/13(全3回)	48人
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(薬科生涯学習センター)	11/1～11/8(6日間)	-
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(北部生涯学習センター)	11/24～11/29(6日間)	-
	子どもの歌～皆で楽しく歌おう～(長田生涯学習センター)	12/5～2/7(全5回)	117人
	むかしあそびにチャレンジ!	12/5～1/16(全3回)	18人
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(美和生涯学習センター)	12/8～12/13(6日間)	-
	昔遊び体験 コマまわしに挑戦!	12/19～1/16(全4回)	26人
	アカデ美和子どもカレッジ 同窓会企画 ジャンボ・バンケーキづくり	12/20	24人
	むかしあそび体験 お手玉に挑戦!	12/26,1/16(全2回)	5人
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(大里生涯学習センター)	1/12～1/17(6日間)	-
	心で聴く おもてなしの英語術	1/16～1/30(全3回)	45人
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(駿河生涯学習センター)	2/1～2/6(6日間)	-
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(東部生涯学習センター)	2/16～2/21(6日間)	-
	子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品展(南部生涯学習センター)	3/1～3/6(6日間)	-
	はじめての歯みがき	3/16	21人
	アカデ美和子どもカレッジ 同窓会企画 ビザづくり	3/20	20人




子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(長田生涯学習センター)	11/7～11/12(6日間)	—
静岡ものづくり! しずおかクラフトーク	11/19、1/28(全2回)	31人
むかしあそび学校プロジェクト むかしあそび教室 おりがみを楽しもう!	11/25～1/13(全3回)	39人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(北部生涯学習センター美和分館)	12/5～12/10(6日間)	—
むかしあそび学校プロジェクト はじめての将棋	12/9～1/13(全3回)	34人
むかしあそび学校プロジェクト 親子でめざせ! けん玉マスター	12/9～1/13(全3回)	28人
アカデ美和子どもカレッジ 同窓会企画 万華鏡をつくろう	12/10	14人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(大里生涯学習センター)	12/12～12/17(6日間)	—
常葉大学教育学部生涯学習学科生×静岡市葵生涯学習センター 手ぬいでオリジナルブックカバーを作ろう!	12/17	10人
静岡大学地域づくりフィールドワーク実習生×静岡市葵生涯学習センター 地元の伝統 駿河漆工芸品に親しもう!	12/17	13人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(西奈生涯学習センター)	12/19～12/24(6日間)	—
パパといっしょにわくわく工作 パパと作ろう! 木のトナカイのおもちゃ	12/23	20人
むかしあそび学校プロジェクト すぐろくを作ってあそぼう!	1/5～1/13(全3回)	16人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(東部生涯学習センター)	1/9～1/14(6日間)	—
むかしあそび学校プロジェクト むかしあそびフェスティバル(薬科生涯学習センター)	1/13	57人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(駿河生涯学習センター)	1/29～2/3(6日間)	—
子どもの歌～皆で楽しく歌おう!～(長田生涯学習センター)	2/3～3/18(全5回)	※
教えて先輩 理系女子のオンコト	2/4	49人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(南部生涯学習センター)	2/6～2/11(6日間)	—
はくぶおはなしフェスタ2018	2/18	30人
子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(北部生涯学習センター)	2/27～3/4(6日間)	—
アカデ美和子どもカレッジ 同窓会企画 巨大迷路をつくろう!	3/10、3/11(2日間)	—
アカデ美和子どもの祭典	3/11	—
賤機山ウォーク ～里山づくり植樹体験～	3/18	※
  子どもの笑顔写真コンテスト受賞作品巡回展(静岡科学館る・く・る)	3/20～3/31(12日間)	—


## 凡例

### 1. ピクトグラム


各ピクトグラムが示す分野は以下の通り。


 音楽

 自然(平成26年度のみ)

 科学(平成27年度～)

 美術と歴史(平成27年度「美術」に改称)

 ダンス(平成28年度「舞台」に改称)

 生涯学習

### 2. 連携事業の表記方法

左列「分野」の欄にピクトグラムが複数付記された事業は、異なる分野で連携を行った事業である。

同一事業名だが主催者が違う場合は、事業名の後ろに主催者名をカッコで記載した。

### 3. 開催日の表記

開催日が複数日だが、連続しない事業は「全〇回」として記載した。

開催日が連続する事業は「〇日間」と記載した。

### 4. 人数表記における記号

「※」平成30年3月9日時点で事業が完了していないもの。

「—」来場者のカウントを行っていないもの。

キニナルスキニナルプロジェクト 記録集  
～平成26(2014)年度～平成29(2017)年度～

発行日：平成30(2018)年3月30日

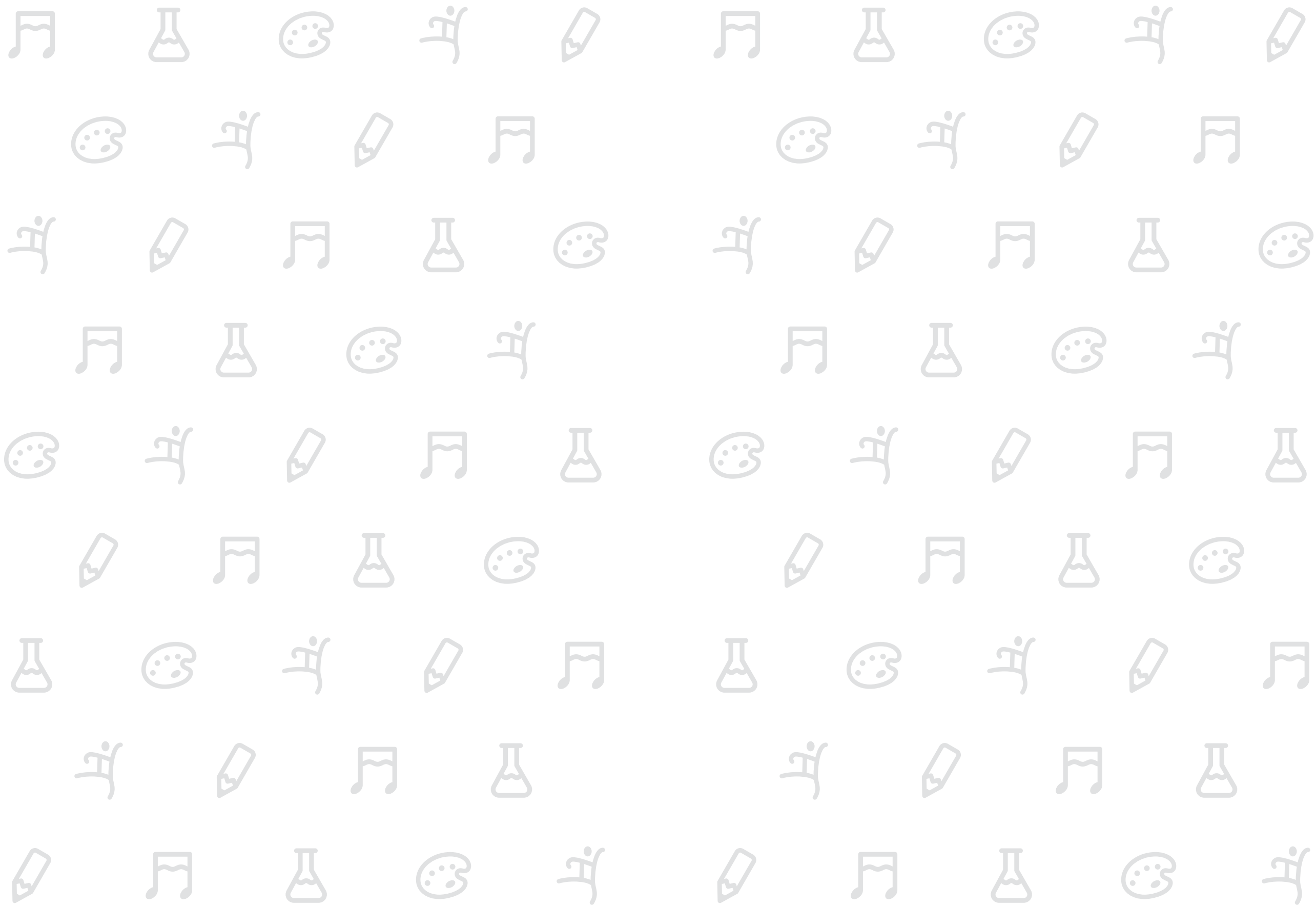
編集・発行：公益財団法人静岡市文化振興財団

〒420-0857 静岡市葵区御幸町4-1 アーバンネット静岡ビル4階

デザイン：ジッカデザイン

印刷・製本：株式会社共立アイコム







公益財団法人  
静岡市文化振興財団  
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

## キニナルスキニナルプロジェクトをふりかえる

キニナルスキニナルプロジェクトは「しずおか文化」を知る、楽しむ、創るという目的のもと、平成26年度から平成29年度までの4年間で254事業を展開した。

事業のスタートとなった平成26年度は、当財団の設立20周年の記念事業として、各主要事業と様々な分野を連携させることで、事業に厚みを持たせ、質の向上を図った。

平成27年度以降は「次世代」につながる「人材育成」をテーマとし、「種をまく」（興味を持つ）、「芽が出る」（体験する）、「花が咲く」（広がっていく）を一つのサイクルと考え、各事業がそれぞれのステップを構成する総合的なプロジェクトとして展開した。

4年間の事業を通じ、舞台芸術、音楽、美術、科学、生涯学習など異なる分野の連携によって参加者の興味関心の幅を広げ、体験を通じ市民の「しずおか文化」への愛着を深めた。また、文化の担い手を積極的に育成、起用することで、「しずおか文化」を創成する環境づくりに寄与した。

各分野の主な事業成果は下記のとおりである。

### 静岡の音楽がキニナル

- ・静岡音楽館 AOI でのコンサート「音楽とおはなし《動物の謝肉祭》」を核にして、静岡科学館る・く・るで静岡音楽館 AOI スタッフと動物学者のトークショーの実施や、静岡市美術館で講演会と美術ワークショップを親子で体験するなど、分野を超えた連携を実施した。（平成26年度）
- ・静岡市美術館の「夢二と京都の日本画」展では、静岡音楽館 AOI の企画協力により連携事業ミュージアム・コンサート「夢二を歌う」を実施し、演奏だけでなく、解説を交えることで、音楽分野、美術分野それぞれの専門性を活かした事業提供ができた。（平成28年度）
- ・静岡音楽館 AOI の「静岡の名手たち」では、「人材育成」をより意識して事業を実施し、生涯学習センターで「静岡の名手たち」オーディション合格者を起用したコンサートを開催するなど、育成の場を広げている。（平成26～29年度）
- ・静岡音楽館 AOI の「AOI のオープン・デイ」では、常葉大学との連携を図ったり、静岡市主催のコンサートと連動させるなど連携を広げ、また「はじめての AOI」など体験型講座も開催し、「奏者」のみならず、「聴き手」を育てる事業となった。（平成26～29年度）

### 静岡の科学（自然）がキニナル

- ・静岡科学館る・く・るでの静岡の自然をテーマとした企画展「しずおか自然体験ミュージアム」では、科学的な紹介だけでなく、地域学や美術などと連携したワークショップを実施した。静岡ならではの要素を多分に含んだ内容とし、しずおか文化への愛着を深めることができた。（平成26年度）
- ・静岡科学館る・く・るでは静岡市美術館の展覧会「青磁のいま」に合わせ、釉薬調合ワークショップなど科学館の専門性を活かした事業を展開し、分野を超えた連携事業として、幅広い年代に好評を博した需要の高い事業となった。（平成27年度）
- ・静岡市美術館の展覧会「エッシャーの世界」に合わせ、静岡科学館る・く・るで「みる・きく・さわるの錯覚展」を開催し、錯覚にまつわる展示を美術館のエントランスホールにも展示することで、両館の

専門性を活かし、来館者の回遊性を促進した。(平成 28 年度)

- ・静岡科学館る・く・るで静岡音楽館 AOI との連携事業「パイプオルガンのしくみ」を、小学生を対象として実施し、工作や体験を用いて楽器の機構などを伝えることで、文化を「次世代」に伝えていく試みとなった。(平成 29 年度)

#### 静岡の美術（と歴史）がキニナル

- ・静岡市美術館の「国宝・久能山東照宮」展では、財団全施設と連携をするなど、各施設の分野を活かした事業展開をすることで、地域ゆかりの文化を幅広く紹介した。また、共通券やバス運行事業など財団外部とも連携することで、市内の回遊性を高めるとともに、地元静岡の歴史や美術に関する興味関心を引き出した。(平成 26 年度)
- ・静岡市美術館では、鑑賞ガイド作成事業により、「坂本龍馬」展など多くの展覧会で教育普及活動として、市内小中学校の児童・生徒にオリジナルの鑑賞ガイドを配布し、展覧会に対する理解、関心を一層深めることができた。また「絵本をひらくと」展では親子で絵と対話しながら鑑賞できるよう配慮することで、幅広い世代が美術に親しむ機会を提供した。(平成 27～29 年度)
- ・静岡市美術館と静岡市立芹沢銈介美術館との共同企画展では、芹沢銈介の作品をめぐる見学ツアーを実施し、静岡ゆかりの美術に触れる機会を提供するとともに、市内の回遊性を促すことができた。(平成 27 年度)
- ・静岡市美術館において、静岡音楽館 AOI の協力によるミュージアム・コンサート、静岡科学館る・く・るや生涯学習センターと連携したワークショップなどを実施し、「次世代」を担う人々の育成を図った。(平成 26～29 年度)

#### 静岡の舞台（ダンス）がキニナル

- ・静岡市民文化会館では、舞台作品づくりを通して世代や経験を超え、「継続的に文化活動に取り組む市民を育成し、活躍の場を開拓する」文化施設の役割を体現した。また、市民参加型オリジナル大型舞台公演をきっかけに、継続的な舞台作品づくりを中核とした事業群「ラウドヒル計画」を設定し、舞台の楽しさ、さらに文化活動に参画する楽しさを広く紹介していく機会を創出することができた。(平成 26～29 年度)
- ・静岡市民文化会館の「コミュニティダンスフェスティバル」では、150 人超の市民ダンサーが 13 作品を上演する大規模なダンスイベントを市民と協働しながら開催し、本企画が地元ダンサーらの共通の「場」としての人のつながりを強める効果を実感できた。(平成 27 年度)

#### 静岡人の生き方がキニナル

- ・生涯学習センターでは、積極的な連携事業の推進により複数の専門館の職員が企画から介在し、事業に各分野の専門性が加味されることで、事業効果を高めることができた。(平成 26～29 年度)
- ・複数の生涯学習センターが連携することで、地域性、スケールメリットを生かした事業展開ができ、20～30 代など普段利用の少ない新たな市民層への事業提供を行うことができた。また、総合的な広報により様々な文化に触れる機会を広げ、興味の幅を広げることに繋がった。(平成 26～29 年度)